令和７年度使用中学校教科用図書選定に関する報告

〈第六地区教科用図書採択協議会〉

令和７年度から使用する、中学校教科用図書を、公正かつ適正に選定するために調査研究を重ね、選定業務を完了しました。選定の経過、選定結果及び選定の理由並びに選定にかかる委員は下記のとおりです。

記

１　選定の経過

（１）　第六地区教科用図書採択協議会

○４月２６日　・第１回第六地区教科用図書採択協議会
・役員の選出、選定方針の協議

○５月　２日　・第２回第六地区教科用図書採択協議会
・選定方針の決定
・北九州教育事務所管内教科用図書調査研究協議会に調査研究について諮問

○５月２２日　・選定委員の委嘱
・教科書採択説明会
・選定委員会に３種選定を諮問

○５月２４日　・全中学校に見本本を配布し、学校意見書を要請

○６月２５日　・学校意見書の取りまとめ

○６月２８日　・調査研究協議会長から答申書受領

○７月２５日　・第３回第六地区教科用図書採択協議会
・選定委員会の答申を受け、協議の上全員一致で１種選定

（２）選定委員会（総括部会、選定部会）

○５月２２日　・第１回選定委員会（第１回総括部会）
・選定委員の委嘱状交付
・委員長、副委員長の選出、選定資料の確認
・選定部会各教科の協議日程の調整

○６月　３日　・選定部会開催（各教科、全４回）

～７月１９日　・調査審議、調査結果報告書の審査
・学校意見書の確認
・３種選定し、報告書の取りまとめ

○７月２３日　・各教科ごと報告書を事務局に提出

○７月２５日　・第２回総括部会
・採択協議会に３種選定した結果を答申

（３）北九州教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

○４月　・第１回調査研究協議会（役員選出、日程等協議）

○５月　・第２回調査研究協議会（地区採択協から諮問）

○５月　・調査研究部会（調査・研究・報告書まとめ）

○６月　・第六地区教科用図書採択協議会に調査研究報告書を答申

２　選定にかかる各委員

（１）第六地区教科用図書採択協議会（各教育長　５名）

会　長	蔵　元　洋　一	（中間市）
副会長	古　賀　弘　明	（岡垣町）
監　事	三　桝　賢　二	（芦屋町）
委　員	小　宮　順　一	（水巻町）
委　員	中　尾　治　実	（遠賀町）

（２）選定委員会　（学識経験者、保護者代表、教員、総勢３８名）

会　長	鈴　木　邦　治	（学識経験者　福岡教育大学教授）
副会長	安　田　茂　雄	（保護者代表　中間市小中学校ＰＴＡ連合会）
選定部長（国語）	梶　原　忠　信	（岡垣町立岡垣中学校）
選定部長（社会）	江　上　宏　一	（遠賀町立遠賀南中学校）
選定部長（数学）	尾　中　　勇	（中間市立中間南中学校）
選定部長（理科）	上　田　茂　雅	（水巻町立水巻中学校）
選定部長（音楽）	藤　田　政　洋	（岡垣町立岡垣中学校）
選定部長（美術）	新　町　知　紀	（中間市立中間北中学校）
選定部長（保健体育）	石　松　　誠	（岡垣町立岡垣東中学校）
選定部長（技術・家庭）	宮　原　仁　美	（岡垣町立岡垣東中学校）
選定部長（外国語）	井　上　美由紀	（中間市立中間東中学校）
選定部長（道徳）	矢　野　真奈美	（中間市立中間中学校）

ほか　副部長　　各教科に１名（１０名）
　　選定部員　各教科に１～２名（１６名）

３　選定結果

種目＼教科書		発行者 番号	発行者 略称	書名
国語	国　語	38	光村	国語
	書　写	38	光村	中学書写
社会	地理的分野	46	帝国	社会科　中学生の地理 世界の姿と日本の国土
	歴史的分野	2	東書	新編　新しい社会　歴史
	公民的分野	17	教出	中学社会　公民　ともに生きる
	地　図	46	帝国	中学校社会科地図
数　学		61	啓林館	未来へひろがる数学
理　科		61	啓林館	未来へひろがるサイエンス
音楽	一　般	27	教芸	中学生の音楽
	器楽合奏	27	教芸	中学生の器楽
美　術		38	光村	美術
保健体育		224	学研	新・中学保健体育
技術・家庭	技術分野	9	開隆堂	技術・家庭　技術分野 テクノロジーに希望をのせて
	家庭分野	9	開隆堂	技術・家庭　家庭分野 自立しともに支え合う生活へ
英　語		2	東書	NEW HORIZON English Course
道　徳		2	東書	新編　新しい道徳

４　選定理由

教科書の種目	発行者の番号	発行者略称	教科書名
国語（国語）	３８	光村	国語

選　　定　　理　　由
○　学習指導要領の趣旨を踏まえて適切に編集されており、生徒の発達段階に適応している。 ○　各学年とも、目標達成に結びつく内容になっている。 ○　生徒の課題解決能力を伸ばすことができるように、生徒の興味・関心に合わせた内容になっている。 ○　長年読み継がれてきた作品とともに、現代作家の作品を取り上げる等、幅広い文章を取り扱っている。 ○　今日的な課題を多く取り上げることで他教科との関連をもたせる等、教科横断的な視点で学習できる内容になっている。 ○　「学びへの扉」（手引き）は、学習活動全体を見通し、自らの学習を調整しながら、対話的に理解や考えを深める構成になるよう配慮されている。 ○　国語の資質・能力を焦点化・視覚化して「学びのカギ」として示し、確実に身につけられるように配慮されている。 ○　年間の授業時数に応じた内容が配分されている。 ○　教材に軽重をつけながらバランスよく配列されている。 ○　本文、注、資料、挿絵、写真、図等は学習を進めるうえで、関連をもたせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されている。 ○　生徒の興味・関心を高める動画や資料を視聴できるように二次元コードが配置されている。 ○　文字・図版・写真などの印刷が鮮明でわかりやすい。 ○　文字の大きさや書体、字間や行間も適宜使い分けられており、見やすい。

教科書の種目	発行者の番号	発行者略称	教科書名
国語（書写）	３８	光村	中学書写

選　　定　　理　　由
○　学習指導要領の趣旨を踏まえて適切に編集されており、生徒の発達段階に適応している。 ○　各学年とも、目標達成に結びつく内容になっている。 ○　各教材に共通して、①考えよう②確かめよう③生かそう　という学習過程が示され、生徒が見通しをもって学習に臨むことができる内容になっている。 ○　毛筆と硬筆とを関連付け、国語の教科書と関連した教材を全学年に設定することで、書写で身につけた力を他教科や学校生活で生かすことができる内容になっている。 ○　教科書に準拠した硬筆練習帳を別冊で設け、学習内容の定着を促し、また、学びを日常に生かせるよう配慮されている。 ○　年間の授業時数に応じた内容が配分されている。 ○　毛筆、硬筆に偏りがなく、調和がとれている。 ○　各ページに二次元コードが配置され、学習の参考となる豊富な資料が用意されている。 ○　巻末部分には日常に役立つ教材が掲載されている。 ○　印刷が鮮明でＢ５変形判サイズであり、紙質、文字の大きさ、字体、行間が適切である。

教科書の種目	発行者の番号	発行者略称	教科書名
社会（地理的分野）	４６	帝国	社会科　中学生の地理 世界の姿と日本の国土

選　　定　　理　　由
○　学習指導要領に示された目標・内容に準拠した構成である。 ○　内容の程度は、生徒の発達段階に即している。 ○　単元を貫く「章・節の問い」が設定され、単元の最後には、「学習を振り返ろう」が設定されている。また、各項目には「学習課題」とそれに対応した「説明しよう」と、知識・技能を高めるための「確認しよう」が設定されており、単元や各項目について学びの構造化がなされている。 ○　どの単元も「写真で眺める」から「自然環境」という順番で学習が展開されており、地域的特色を理解しやすくするための工夫がなされている。 ○　小学校の既習内容や歴史・公民との関連、地図帳の活用、他教科との関連といった教科を横断した学習の視点に立った工夫がなされている。 ○　「節の振り返り１」では知識の定着を図り、「節の振り返り２」では思考ツールを活用した対話的な深い学びを通して「章・節の問い」に取り組み、単元の学習を振り返ることができるように工夫がなされている。 ○　パフォーマンス課題によって活動を促すため、「アクティブ地理」が新設されており、他者との意見交流を通して合意形成を目指す態度育成のための工夫がなされているなど、ペーパーテストでは測りにくい思考力・判断力・表現力を見取るのに適している。 ○　見開きで１単位時間を原則としており、全体の分量は、授業時数からみて適切である。 ○　写真や資料が非常に多く掲載されており、資料の活用による課題解決能力の育成が可能である。 ○　図版やグラフなどの資料と本文が統一されたレイアウトで掲載されているため、誰にでも読み取りやすい。 ○　ＡＢ判で、印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、材料は適切である。 ○　環境に配慮した植物性インキを使用している。 ○　節の冒頭や振り返り、「技能をみがく」コーナー等に二次元コードが掲載されており、学習内容の習得や調べ学習をサポートする学習コンテンツが用意されている。

教科書の種目	発行者の番号	発行者略称	教科書名
社会（歴史的分野）	2	東書	新編　新しい社会　歴史

選　定　理　由
○　学習指導要領に示された目標・内容に準拠した構成である。 ○　内容の程度は、生徒の発達段階に即したものになっている。 ○　各時代の学習を動機付けや見通しを方向付ける「導入部」、歴史的な見方・考え方を働かせながら多面的・多角的に考察できる「展開部」、学んだことを振り返り、思考・判断したことを自分の言葉で説明したり、議論したりできる「まとめ」の構成になっている。 ○　小集団の協働的な活動コーナーとして「みんなでチャレンジ」を設け、対話的な活動を行いやすく、また、主体的に学習に取り組む態度を養える設定になっている。 ○　生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」から１時間を貫く問いである「学習課題」、丁寧でわかりやすい本文など、学習の流れを「見える化」したことで、学習内容を確実に定着できように配慮されている。 ○　「年表スケール」で、全ての項で学習する時代や年代を意識させながら学習させることができる。 ○　年間時数に応じて、適切に配分されている。 ○　内容に偏りがなく、授業時数に合わせて適切に編集されている。 ○　各章の最後には、「まとめの活動」「深めよう」を設け、問いを軸にした課題解決学習によって、学習内容を整理することで、時代全体を大観できるように工夫されている。 ○　見やすく、読み違えにくいＵＤフォントを使用している。 ○　ＡＢ判で、印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、材料は適切である。 ○　環境に配慮した植物性インキを使用している。 ○　見開きページの定位置に二次元コードが掲載され、「D-ZOOM」や「なるほどスキルアップ」「チェック＆トライ」等の学習内容に関連するデジタルコンテンツが閲覧できるようになっている。

教科書の種目	発行者の番号	発行者略称	教科書名
社会（公民的分野）	１７	教出	中学社会　公民 ともに生きる

選　　定　　理　　由
○　学習指導要領に示された目標・内容に準拠した構成である。 ○　内容の程度は、生徒の発達段階に即したものになっている。 ○　課題を捉え、見通しを立て、追究し、解決していく力の育成が図られるよう、単元（章）を通して課題解決的に学習を進められる構成になっている。 ○　「公民の技」コーナーで個人やグループでの活動を通して資料を読み取る技能や表現力などを身に付けさせるよう工夫している。 ○　ページ下部の「関連コーナー」や「ＳＤＧｓコーナー」で３分野の内容やＳＤＧｓに関連付けて考えさせることができる。 ○　生徒の生活体験から始まる「ウォーミングアップ！公民」で問題意識をもちつつ、単元を貫く課題を捉え、共有し、見通しをもたせるよう配慮された構成となっている。 ○　特設ページでは、本時の学習内容と関連を図りながら、今日的な課題のテーマを設けている。 ○　全体の分量は、授業時数から見て適切である。 ○　授業内容に偏りがなく、調和がとれている。 ○　自ら問いや学習の見通しをもてるように、資料に詳しい解説を加え、見開きで通し番号を示すことで、資料と本文との関係を理解しやすくしている。 ○　ＵＤフォント使用で、カラーバリアフリーに配慮してある。 ○　重要語句はゴシック体で示され、イラストや写真は、生徒の意欲や興味、関心を高めることができるようにしている。 ○　ＡＢ判で、印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、材料は適切である。 ○　環境に配慮した植物性インキを使用している。 ○　「公民の技」や「ＨＯＰ！」コーナーに二次元コードが掲載され、主体的な学習に活かせる「まなびリンク」に、動画、語句クイズ、まとめワーク、外部リンクが設けられている。

教科書の種目	発行者の番号	発行者略称	教科書名
社会（地図）	４６	帝国	中学校社会科　地図

選　　定　　理　　由
○　学習指導要領に示された目標・内容に準拠した構成である。 ○　内容の程度は、生徒の発達段階に即したものになっている。 ○　地域の特色が偏らずに理解できるように、多面的・多角的に地図・資料が選定されている。 ○　課題解決的な学習を行うために、紙面のわきに「主題学習」を設け、そのページで扱うテーマを追求する際の着眼点を示している。 ○　世界の各州では、生活・産業・著名な建造物などのイラストが配置され、生徒の興味・関心を喚起させる工夫がなされている。 ○　環境問題や脱炭素への動き、食料問題や紛争問題など多数の地図と資料が掲載されている。 ○　各ページに「地図で発見」コーナーが設定されており、社会的な見方・考え方を働かせるように工夫されている。 ○　歴史や公民・修学旅行など多目的に活用できる地図が掲載されている。 ○　教科書の内容に対応しており、適切な分量である。 ○　生徒の興味・関心を高め、地域の姿をよりイメージしやすいように鳥瞰図が多数掲載されている。 ○　ＵＤフォントが使用されており、読み取りやすい。 ○　Ａ４判で扱いやすく、印刷も鮮明で文字の大きさ、字体、など適切である。 ○　利用者のことを考え、軽い紙を使用している。 ○　環境に配慮した植物性インキを使用している。 ○　二次元コードが掲載されており、動画やワークシートなどデジタルコンテンツが豊富である。 ○　他のページに関連した内容の資料がある図版には、参照ページが付記されている。

教科書の種目	発行者の番号	発行者略称	教科書名
数学	６１	啓林館	未来へひろがる数学

選　　定　　理　　由
○　学習指導要領の趣旨を踏まえ、数学の目標達成に結びつく内容に留意し、適切に編集されている。 ○　内容の程度は、生徒の発達段階に適している。 ○　数学的な見方・考え方を働かせるために、日常の事象や既習内容をもとにした導入課題を設定したり、利用場面に「ステップ方式」を導入したり、過程を意識できるようにしている。 ○　数学的活動の楽しさやよさを実感できるように、「学習のとびら」などに、数学が関係している身のまわりの題材をとりあげている。 ○　思考力・判断力・表現力を養うために、自分の考えを整理し、まとめて伝えたり、他者と自分の考えを比較して考えたりする場面を設ける「説明しよう」「話し合おう」「まとめよう」などがあり、二次元コードも適切に配置されている。 ○　全国学力・学習状況調査結果に基づき、課題が見られる内容を丁寧に示すなどしている。 ○　生徒の興味関心を引くような内容や「リサイクル」「社会福祉体験」など、多様性や思いやりを尊重する態度の育成など道徳科との関連など様々な教材を取り上げている。 ○　資料や「基本の問題」「章の問題」「補充問題」などをＱＲコンテンツで配置することで、教科書の軽量化に配慮している。 ○　二次元コードによるデジタルコンテンツによる分量の調整も可能で、生徒の理解にあわせて学習を進めることができる。 ○　二次元コードやリンクマークが掲載されており、アニメーションや動画、章末問題の解説等が視聴できる。 ○　例や例題にタイトルがついており、学習の目当てを表示するなど、本文全体を通して読みやすくなっている。 ○　印刷が鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切である。 ○　Ｂ５判で、ＵＤフォントのが使われており、文字の大きさや色使いなどに配慮されている。

教科書の種目	発行者の番号	発行者略称	教科書名
理科	６１	啓林館	未来へひろがるサイエンス

選　　定　　理　　由
○　内容は教科の目標達成に結びつくものになっており、発達段階に応じた程度となっている。また、学習指導要領に示す教科、学年、領域の事項を不足なく取り上げている。 ○　各単元の前に「学ぶ前にトライ」「学んだ後にリトライ」という単元を通した課題設定があり、見通しをもって学習に取り組める内容になっている。 ○　「課題の把握」→「課題の追求」→「課題の解決」の流れの中で観察・実験を行うことにより科学的に探究しようとする力を養うことができる内容になっている。 ○　エネルギー、粒子、生命、地球の４つの概念に沿って、各単元が適切に配置されている。 ○　各章末には「学習のまとめ」や「力だめし」「みんなで探Ｑクラブ」が配置され、自然現象についての理解を深める内容になっている。 ○　「つながる学び」や「発展－高校生物」等を配置し、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。 ○　SDGs に関連するコーナーにマークを付けたり、コラムを配置したりして、理科と社会とのつながりや科学技術の有用性がわかるよう配慮されている。 ○　各実験・観察の手順においては具体的な注意点が赤字で説明され、注意・安全マークがアイコンと文字でも示されるなど、事故の防止等に配慮されている。 ○　各分野・各領域の内容に偏りなく適切に配分されている。 ○　配当時間は適切である。 ○　「解説動画」「実験動画」「図サポートスライドショー」「Web リンク」「問題」「振り返りシート」「発表スライド」等、多くの内容に二次元コードからアクセスできるようになっている。 ○　図や写真が大きく詳細であり、内容の理解に役立っている。 ○　UD フォントを使用しており、内容が伝わりやすい配色やデザインが用いられている。 ○　AB 版であり、表紙は汚れにくい加工が施されている。

教科書の種目	発行者の番号	発行者略称	教科書名
音楽（一般）	２７	教芸	中学生の音楽

選　定　理　由
○　学習指導要領の目標と内容を踏まえており、歌唱・創作・鑑賞の各学習をバランスよく取り上げている。 ○　著作権や自作の作品の取り扱いに関して、発展的に学習することができる内容になっている。 ○　「学びのコンパス」では、音楽を深く味わうための視点が、音楽を形づくっている要素で掲載されており、主体的・対話的な学習ができるようになっている。 ○　日本や世界の様々な音楽の例がたくさん示してあり、楽曲を比較しそれぞれの楽曲の音楽的特徴を捉えることができる内容になっている。 ○　歌唱・合唱教材の楽曲内容や掲載順序が、生徒の発達の段階に適しており、楽曲数も豊富である。 ○　教科書に掲載されている二次元コードからは、伴奏・パート音源・映像・創作ツールにアクセスできる。創作ツールでは、音や音楽の繋がりを即興的に演奏しながら創作活動に取り組むことができる内容になっている。 ○　日本の伝統芸能や民謡などでは、本来の伝承のあり方に基づいて口唱歌や図形譜を使用しており、自国の文化に愛着を持つことのできるような内容になっている。 ○　「１年間の学習」では、教材ごとの「音楽を形づくっている要素」や身につけるべき資質・能力が明確で、見通しをもって学習に取り組むことができる内容になっている。 ○　教材に関する説明や年表において、必要な情報が簡潔に示されている。 ○　教材における着目すべき視点を焦点化するために、音楽を形作っている要素が教材の学習目標の下に示されている。 ○　多くの教材に道徳教育や人権教育との関連が図られた教材が取り入れられている。 ○　全体の分量は、授業時数から見て適切である。 ○　共通歌唱教材については、「心の歌」として掲載されており、３年間を通してバランス良く授業で取り扱うことができる内容になっている。 ○　音楽記号や用語が「音楽の約束」として１ページに簡潔にまとめられている。 ○　AB 変形版を採用している。 ○　シンプルデザインや UD フォントが使用されており、文字・楽譜・写真・挿絵の見やすさに配慮している。

教科書の種目	発行者の番号	発行者略称	教科書名
音楽（器楽合奏）	２７	教芸	中学生の器楽

選　定　理　由
○　学習指導要領の目標と内容を踏まえており、器楽の学習をする上で適切なものとなっている。 ○　管楽器、弦楽器、打楽器の演奏の仕方について、詳細な写真と奏法についての詳しい解説が記載されており、学習指導を進める上で適切である。 ○　教科書の構成が、「西洋の楽器」と「日本の伝統楽器」に分けられており、音楽的な特徴と関連付けながら学習できる内容になっている。 ○　それぞれの曲ごとに、身につけたい知識や技能が適切に示されており、見通しを持って学習に取り組むことができる内容になっている。 ○　「学びのコンパス」では、演奏表現を深めるために注目すべき音楽の要素が記載されており、主体的・対話的に学習を進めることができる内容になっている。 ○　楽器を紹介するページにおいて、演奏場面や同類の楽器を掲載し、楽器を身近なものとして捉えることができる内容になっている。 ○　多人数で合奏する楽曲が多数あり、最近の慣れ親しんだ曲も掲載されているため、楽しさを感じながら学習できる内容になっている。 ○　「バンドの世界をのぞいてみよう」「伝統の枠を超えて活躍する和楽器」では、様々な国の楽器や楽曲を取り上げることで、国際理解教育に配慮されている。 ○　各器楽の題材ごとに、その楽器の代表的な楽曲が掲載されており、興味・関心を高める配慮がされている。 ○　全体の分量は、授業時数から見て適切である。 ○　教科書に掲載されている二次元コードからは、伴奏音源や学習に役立つ資料に、アクセスできるようになっている。 ○　AB 変型版が採用されており、情報が読み取りやすい。 ○　シンプルなデザインや UD フォントが使用されており、文字・楽譜・写真・挿絵の見やすさに配慮されている。

教科書の種目	発行者の番号	発行者略称	教科書名
美術	３８	光村	美術

選　　定　　理　　由
○　学習指導要領の目標に沿った題材が設定されており、全体を通して A 表現と B 鑑賞の指導を一体化させ、発達段階に応じた内容構成になっている。 ○　美術における知識・技能を支える内容を別冊資料に記載し、必要に応じて活用できるよう工夫されている。 ○　生徒の視点による「みんなの工夫」は、構想の広げ方の例示として、学びが深められるよう工夫されている。また、感じたことを言語化できるように「美術鑑賞を広げる言葉」が掲載されている。 ○　全体を通して表現と鑑賞の一体化を意識した構成となっている。各題材ともにそれぞれ鑑賞から入り表現へとつなぐ構成となっており、随所に造形的な視点を増やしていく問いや、知識・技能を培う資料が盛り込まれている。 ○　自国文化への興味・関心を高めるために紙質を変化させる等、視覚だけでなく、触覚からも感じ取れるよう配慮された内容になっている。 ○　二次元コードによるデジタルコンテンツは、主に生徒作品や参考作品であり、発想・構想場面で有効なものとなっている。また、個別の学習を支える動画（技能等）を掲載するとともに、鑑賞の題材では拡大したり描き込んだりできるツールも掲載している。 ○　平和や人権、環境や伝統文化、多様性などの SDG s に関する今日的な課題が盛り込まれている。 ○　各領域・分野の内容に偏りがなく、系統的に編成されているとともに分量もバランスよく構成されている。 ○　鑑賞から表現活動へのつながりがわかりやすく工夫されている。また、図画工作科と美術科との関連が示されている。 ○　別冊資料は３年間を通して使用できる。 ○　見開きページに大きく作品を掲載したり、紙質を変えたりすることによって、より深く作品を味わえるよう工夫されている。

教科書の種目	発行者の番号	発行者略称	教科書名
保健体育	２２４	学研	新・中学保健体育

選　定　理　由
○　学習指導要領の趣旨を踏まえ、適切に編集されている。 ○　各学年の生徒の発達段階に応じた内容である。 ○　ウェルビーイングに向かう力を育むために、保健体育への興味関心を高め、協働的な学びを充実させながら、自らの課題発見・解決に繋がるように編集されている。 ○　体育分野及び保健分野が学年別に編集されており、３年間の見通しを持って学習できるように構成されている。 ○　１単位時間での学習が①ウォームアップ（課題の発見）②エクササイズ（課題の解決）③学びを生かす（学びの活用）の主体的・協働的な学びを促す課題解決型で構成されている。 ○　保健体育の学び全体を通して、ウェルビーイングの実現に近づける構成がある。 ○　各章の「章のまとめ」で、学んだ知識の確認や学習活動の振りを行うことで、実生活へ繋がるように設定されている。 ○　「章デジ」を各ページに設けており、二次元コードからアクセスし、データ・動画等の資料・教材・ワークシート等、生徒自ら教材を選び活用しながら学習できるようになっている。 ○　ストレスへの対処では「リラクセーションの方法」、応急手当の意義と基本では、「心肺蘇生法」・「きずの手当」が実習として示されている。 ○　現代を生きる身の回りにある様々な課題（がん教育・情報活用能力・情報リテラシー・防災・新しい感染症等）を取り上げ、実生活に繋げることができる。 ○　多様性を理解するとともに、様々な学び方や興味・関心の在り方を大切にできるよう構成されている。 ○　各学年で、スポーツの意義、学び方や安全な行い方、文化的意義を学習できる。 ○　１時間の学習への取り組み度合いを「とりくメーター」で可視化し、自己評価できるように構成されている。 ○　各章のはじめに、系統的・発展的な学習ができるように、小学校と高等学校との関連が示されている。 ○　章末に「探究しようよ！」を設定して、発展的・探究的な学びに繋がるようになっている。 ○　教科横断的な学びの観点から、体育分野、保健分野、他教科等の「学習内容の関連」をキーワードで設け、知識や情報を関連させながら学びやすいように整理されている。 ○　AB版２００ページで、各観点が適切に配分されており、３年間を通して適切な分量である。 ○　原則、見開き２ページで１時間での指導内容となっている。 ○　主体的な学びを促すために、「この教科書の使い方」「さまざまな学習方法」「課題学習の整理の仕方の例」が示されている。 ○　ユニバーサルデザインに基づいた編集がなされている。 ○　各章では、色鮮やかな写真や資料、コラムが豊富にあり、学びのイメージを持つことができる。 ○　紙質は良好で、印刷も鮮明である。 ○　製本は丈夫で３年間の使用に耐えられるものとなっている。 ○　文字の大きさや行間も適切である。

教科書の種目	発行者の番号	発行者略称	教科書名
技術・家庭 （技術分野）	9	開隆堂	技術・家庭　技術分野 テクノロジーに希望をのせて

選　　定　　理　　由
○　学習指導要領に沿った配列、示された教科の目標を十分満足させる内容である。また、教科の履修時間を考えた構成であり、中学生段階に適した内容の記述である。 ○　ガイダンスについては、身近に用いられている技術の紹介や 学習の流れを 4 コマ漫画で説明するなど、生徒が学習に興味をもって向き合えるよう工夫している。また、技術を評価することについて、トレードオフの視点をもった説明が示されている。(P14, 15) ○　基礎的・基本的な事項を習得する上で、内容ごとに整理されている。さらに、技能の習得については、仕組みや作業、素材について細かく説明している。また、実践や体験については、各内容について均等に例を挙げ、実習や体験ができるようにしている。(P32, 33, 34, 35) ○　技術分野の基礎的・基本的な知識や技能が確実に習得できるように、見開きのページで、課題、目標、基礎・基本、参考、振り返りが盛り込まれ、生徒が主体的に学習に取り組める工夫がなされている。(P30～33) ○　系統的、発展的な指導ができるよう配慮がされているとともに、履修時間を考え、文章を簡潔に整理し、資料についても生徒が見やすいような紙面構成を配列している。 ○　適所に「実験」・「やってみよう」などの活動を通して、他者との関わりを持ちながら、技術の理解を深めることができるようになっている。(P31, 44, 244, 246) ○　教科の年間授業数で適切に指導できる範囲で内容をまとめている。 ○　各内容の分量は、時数、学期、学年配分などに配慮し、偏りなく扱えるようになっている。 ○　二次元コードがページに配置されており、資料や動画などのコンテンツにリンクできるようになっている。 ○　写真等が鮮明に見えるよう印刷されている。 ○　製本は極めて堅牢で、長期の使用に耐えるものであり、UD フォントを使い、すべての人に読みやすい配慮がされている。

教科書の種目	発行者の番号	発行者略称	教科書名
技術・家庭 （家庭分野）	9	開隆堂	技術・家庭　家庭分野 自立しともに支え合う生活へ

選　　定　　理　　由
○　学習指導要領の目的や内容、取り扱いが明確に整理されている。 ○　各内容を学習目標、導入課題、本文と展開し、最終章での「学習のまとめ」で自己評価する構成となっている。（ｐ86，87） ○　取り組みマークや先輩からのエールマークで地域の取り組みや関係者からのアドバイスで疑似体験ができるよう工夫されている。（ｐ62，ｐ70，ｐ76，ｐ77） ○　各内容の章末に、「持続可能な○○生活」の節が設けられ、SDGｓについて考えられる内容となっている。（ｐ82～85） ○　ひと目でわかるよう、図と写真を両方使用し、誰にでもわかる工夫をしている。また、比較がしやすいように掲載の工夫がされている。 ○　該当の学習内容と関連するページに「リンク」マークを示しており、他教科・他分野、小学校の学習と関連しながら学習できるよう配慮されている。（ｐ35：保健体育） ○　防災関連の実習・製作例も多く取り上げられており、防災教育への配慮がされている。（ｐ246～255） ○　学びが主体的になるように、「話し合ってみよう」「やってみよう」「考えてみよう」「発表しよう」などの項目が多く提示している。（ｐ57、60，61） ○　基礎的・基本的な知識・技能が習得できるように、適切な分量に配分されている。 ○　学習指導要領の内容Ａ・Ｂ・Ｃを関連付けて学習できるように工夫した構成で、無理なく基礎・基本をおさえた学習ができるよう配慮されている。 ○　実習や製作の内容に二次元コードが記載され、コンテンツの提供が充実している。 ○　QR マークと二次元コードを関連付け、より詳しい資料が確認できるようになっている。（ｐ245，ｐ259） ○　書体はＵＤフォントを使用している。また、カラーユニバーサルの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるように配慮されている。 ○　製本は極めて堅牢で、水に強く、長期間の使用に耐えることができる加工がされている。

教科書の種目	発行者の番号	発行者略称	教科書名
外国語（英語）	2	東書	NEW HORIZON English Course

選　定　理　由
○　学習指導要領の趣旨を踏まえ、適切に編集されている。 ○　生徒の発達段階に応じて、適切に編集されている。 ○　各学年・各学期の目標をCan-Doリストとして示し、明確な到達点に向かって学習が進められるよう構成されている。 ○　Unitのまとめとしてあ るStage Activityに向けて活動を系統的に積み上げ、パフォーマンス評価を行うように構成されている。 ○　Unitでは目的・場面・状況を意識し、４技能５領域をバランスよく活用しながら学習できるよう設定されている。 ○　Unitの中にあるRead and Thinkを始める前にBefore You　Readにおいてリスニング音声を聞くことで、生徒が目的意識を持って本文読解に取り組めるように構成されている。 ○　各Unitの構成を統一し、学習の流れに見通しを持たせたり、全学年を通して、既習事項をスパイラルに学習したりできるよう構成されている。 ○　１年生では、小学校の言語材料や単語等、余裕をもって振り返ることに配慮があり、３年生では段階的にリーディングの語数が増やされ、高等学校への接続に配慮されている。 ○　標準授業時数に見合ったページ数である。 ○　発達段階に応じた英文の量や種類が充実している。 ○　QRコードからアクセスできる本文や語句の音声を活用して一人ひとりにあった学び方をできるように工夫されている。 ○　協働して問題解決を行う対話的な学びの機会が担保できるように、活動やグループでの発表活動などが教科書全体で豊富に配置されている。 ○　カラーユニバーサルデザインの観点から、配色及びデザインに配慮している。 ○　サイズはA4判で、文字の大きさや書体、行間および製本の様式、材質等が適切である。 ○　学習者用デジタル教科書では、映像や音声などにアクセスでき、学校や家庭での学習で活用できるように配慮されている。

教科書の種目	発行者の番号	発行者略称	教科書名
道徳	2	東書	新編　新しい道徳

選　　定　　理　　由
○　学習指導要領の趣旨を踏まえ、道徳教育の目標に基づいた「特別の教科 道徳」の授業が行えるよう適切に編集されている。 ○　内容程度は生徒の発達段階に適している。 ○　物事を多面的・多角的に考えられるよう、読み物教材だけでなく、漫画やグラフ、NHK for School の動画など、様々な形の教材が取り入れられている。 ○　いじめ、生命尊重、防災、情報モラル、SDGｓ・多様性という５つの現代的課題に向き合う教材が各学年に配置されている。特に、いじめや生命尊重については、３本の教材がユニット化されており、自分の考えを深めることができる。 ○　人としての考えを広げ、深めることができるように定番教材を増やし、「考えよう」と「見つめよう」にはテーマに呼応した発問が提示されている。 ○　小学校でなじみのある教材や、学年間連携教材などを系統的に配置し、自らの成長を実感できるようになっている。 ○　速度調節機能が付いた朗読音声や、複雑な教材のあらすじを４コマ漫画で解説するなど、文章を読むことが苦手な生徒の理解を助ける工夫がされている。 ○　幅広い人権課題について取りあげた教材を各学年に配置し、挿絵や写真にはスラックスをはいた制服姿の女子や多様な国籍の生徒が描かれ、多様性に配慮している。 ○　各学年３５時間で使用する上で適切な分量である。 ○　各教材は、１時間で扱うのに適した分量である。 ○　誤認しにくいユニバーサルデザインフォントを使用し、各学年に合わせたレイアウトになっている。 ○　気持ちを可視化できる心情円盤が、授業の流れでデジタルと紙面の使いやすいほうを選択できるようになっている。 ○　各教材のページと背表紙に QR コードが用意されており、全ての教材の朗読音声やワークシート、資料、教材によっては動画が再生でき、内容が充実している。 ○　各学年の巻頭の「1 年間で学ぶこと」「道徳科で学ぶこと」では 1 年間の学習の見通しを持つことができる。 ○　印刷は鮮明で見やすく、目に優しい色を基調とし、グラフは色分けするなどの工夫がされている。 ○　各学年の巻末に切り取り式の自己評価用紙と心情円が用意され、自己評価や話し合いの活動の際に活用できる。 ○　視覚効果の高いワイドな AB 版が採用されている。 ○　身体的な負担を軽減するため、軽量で丈夫な用紙が採用されている。